

# JANNET 障害分野 NGO 連絡会

メールマガジン 第 83 号 2010 年 6 月 29 日発行

—目次—

## トピックス

1. JANNET、PIC 東京、日本財団共催<コーヒーアワー>  
ウィーン大学における障害者協議会の活動と障害者サービス (2010 年 5 月 27 日)
2. 第 2 回 JANNET 財務・組織委員会のご報告 (2010 年 6 月 7 日)
3. CBR AP ネットワーク役員会 (バンコク) 報告 (2010 年 6 月 14 日)

## インフォメーション

1. AAR 緊急支援活動
2. JANNET「CBR と開発」勉強会 報告書が完成
3. 国連障害者の権利条約批准国情報 (2010 年 6 月 29 日現在)

## イベント情報

1. スタッフ・ベンダ・ビリリ 演奏会
2. 2010 年アジア太平洋盲人福祉会議 (WBUAP 中期総会)

## トピック 1

JANNET、PIC 東京、日本財団共催<コーヒーアワー>

ウィーン大学における障害者協議会の活動と障害者サービス

社会福祉法人 東京ヘレン・ケラー協会  
福山 博

5月26日(水)午後6時30分～東京・内幸町の世界銀行情報センター(PIC 東京)において、ウィーン大学障害者協議会議長のヴォルフガング・ノヴァク氏による標記講演が行われた。

同氏は1976年オーストリアの首都・ウィーン生まれの現在33歳。ウィーン大学で2006年に哲学と政治学の修士号を取得。現在、博士課程で哲学と政治学の論文をまとめながら、同大政治学部サービスセンター職員としてインターネット上で講義を提供する E ラーニング・プロジェクトの政治学と哲学のシステム構築を行っている。

同大のキャンパスには、同氏考案の「アイソタイ (ISOTI・Information system of tactile indicators)」というユニークな視覚障害者の誘導システムがある。これは、ウィーン大学出身で20世紀を代表する哲学者の一人であるオットー・ノイラート博士(1882～1945)が考案した「アイソタイプ (Isotype)」という絵文字 (Pictogram) に触発されて開発したもので、厚さ2mm、幅3cm の2～7本の線で、白杖で探ることで現在の位置やその先にある施設がわかる仕組み。例えば、2本線は研究室、5本線は階段、7本線は危険の喚起で階段の手前などに敷かれる。なお、7本線はオーストリアの地下鉄や鉄道のプラットフォームの端にある危険警告線と同じパターンだ。

ノヴァク氏は、一昨年の10月に障害者教職員で組織する障害者協議会の議長に選出された。ウイ

ーン大学には、約8万5,000人の学生がおり、そのうちの0.9%が障害者で、8,600人の教職員の中にも180人の障害者がいる。オーストリアの法律では5人以上の障害者がいる事業所は、障害者協議会を設置することが義務づけられているという。

障害者協議会は毎月会議を開き、障害を持つ学生や教職員の抱える問題を討議し、障害学生支援センターと連携して、例えば、視覚障害学生に点訳、墨字本のテキスト化等のサービスを提供したり、資料検索のシステムが新たに導入された際に、視覚障害者がアクセスしやすいように大学側に要望し、実現させてきた実績がある。

質疑応答では、背景がうまく把握できないため、議論がうまくかみ合わない部分もあったが、「アイソタイは、誰でも使えるように設計したとおっしゃっていましたが、7月にオーストリアに行きますので、実際に試してみます」という視覚障害を持つ参加者の声もあり、活発な意見交換の中、定刻の午後8時になごやかに終了した。

## **トピック 2**

### **第2回 財務・組織委員会のご報告**

社会福祉法人 日本盲人会連合  
田畑 美智子

5月30日のJANNET総会後の委員会に続き、6月7日、今年度2回目の本格的な財務・組織委員会が戸山サンライズで開催されました。委員会メンバー全員が顔を揃え、拡大委員会・会員拡大・財務状況を中心に、JANNETの様々なことに就いて話し合いました。

会員拡大については、セミナーやコーヒアワーの更なる活用、会員に最近の活動に就いて報告してもらうなど会員間の交流、双方向のコミュニケーションの可能性、学生ボランティアを活用したJANNET紹介ツールの企画など、様々な意見が出ました。財務に就いては、リハ協のご支援で活動が成り立っている現状を見つつ、特にAARより様々な助成スキームなどの情報提供をいただきました。

昨年初めての試みとして、財務・組織委員会の枠を超えた拡大委員会を開催しました。会員拡大や広く関係する項目に就いて貴重な意見交換ができたので、今年度も引き続き開催を検討することになりました。その前段階として、会員の皆さんに簡単なアンケートを実施し、JANNETに期待するものなどを伺うことを検討することとなりました。会員の皆さんには是非ご協力をお願いし、ご意見を賜ればと存じます。

また、今年の後半に開催される予定の拡大委員会には、広報・啓発、及び研修・研究委員会の方にも、可能な限り参加していただき、JANNETが更に魅力あるネットワークとなるよう、知恵を出し合うことができればと思います。

## **トピック 3**

### **CBR AP ネットワーク役員会(バンコク) 報告**

JANNET 事務局・日本障害者リハビリテーション協会  
上野 悦子

6月14日にCBR AP ネットワークの役員会がバンコクにあるAPCD(アジア太平洋障害者センター)において開催され、出席したので報告します。

会議には9人の役員中、8人が参加しました。

会議では、次のような議題について話し合いました。

### ○ネットワークのロゴコンテスト

29件の応募作品から選ばれたのはタイの人の作品でした。選考の特徴は、車いすをデザインされた、ひと目で障害者を示すとわかるのは排除されたことです。特に障害のある役員が除くことを主張し、他の委員も同調しました。

○2010年11月13－15日クアラルンプールで開催予定の、CBRガイドラインのアジア太平洋地域での開始のための会議の詳細について、マレーシアから進捗状況が報告されました。第一次案内はまもなく公表されます。

○2011年にフィリピンで予定される、第二回CBRアジア太平洋会議の進捗が報告されました。

○2009年の第一回CBRアジア太平洋会議の主な発表をまとめて印刷する件について、APCDから報告がありました。

○他にファンドレイジングなどです。

大きな成果は、APCDが単なる事務局を引き受けるというだけではなく、一歩進んで、より積極的に関わるパートナーとして位置付けられたことです。

これにより、APCDの持っている専門性、集積された知識などをCBR APネットワークが共有し、また逆も可能になるというシナジー効果が期待できるのではないかと、思います。

ウェブサイトは、APCD内に置かれ、随時情報が流されます。

## インフォメーション

### 1. 認定 NPO 法人 難民を助ける会による被災地での緊急支援活動

JANNET 団体会員である認定 NPO 法人 難民を助ける会が、ハイチの被災地において、緊急支援、特に障害者支援の活動を展開しています。詳細は以下のサイトをご覧ください。

◆ ハイチ大地震緊急支援速報 <http://www.aarjapan.gr.jp/lib/act/act1001-1haiti.html>

### 2. JANNET 「CBRと開発」勉強会 報告書が完成

2009年7月11日に行われた第1回「CBRと開発」勉強会「バングラディッシュにおける開発の経験から障害を考える」、および10月11日に行われた第2回「ウズベキスタンでの事例からCBRの課題を学ぶ」の2本の報告書が完成しました。報告書はJANNET HPからご覧になれます。是非、ご覧下さい。報告書 HP: [http://www.normanet.ne.jp/~jannet/cbr\\_kenkyu/index.html](http://www.normanet.ne.jp/~jannet/cbr_kenkyu/index.html)

### 3. 国連障害者の権利条約批准国情報

( 関連サイト: <http://www.dinf.ne.jp/doc/japanese/rights/right.html> )

1. アルジェリア	2. アルゼンチン	3. オーストラリア
4. オーストリア	5. アゼルバイジャン共和国	6. バングラディッシュ
7. ベルギー	8. ボリビア	9. ボスニア・ヘルツェゴビナ
10. ブラジル	10. ブルキナファソ	12. カナダ
13. チリ	14. 中国	15. クック諸島
16. コスタリカ	17. クロアチア	18. キューバ
19. チェコ共和国	20. デンマーク	21. ドミニカ共和国

22. エクアドル	23. エジプト	24. エルサルバドル
25. フランス	26. ガボン	27. ドイツ
28. グアテマラ	29. ギニア	30. ハイチ
31. ホンジュラス	32. ハンガリー	33. インド
34. イラン	35. イタリア	36. ジャマイカ
37. ヨルダン	38. ケニア	39. ラオス
40. ラドビア	41. レソト	42. マラウイ
43. モルディブ	44. マリ共和国	45. モーリシャス
46. メキシコ	47. モンゴル	48. モンテネグロ
49. モロッコ	50. ナミビア	51. ネパール
52. ニュージーランド	53. ニカラグア	54. ニジェール共和国
55. オマーン	56. パナマ	57. パラグアイ
58. ペルー	59. フィリピン	60. ポルトガル
61. カタール	62. 韓国	63. ルワンダ
64. サンマリノ共和国	65. サウジアラビア	66. セルビア
67. セイシェル共和国	68. スロバキア	69. スロベニア
70. 南アフリカ	71. スペイン	72. スーダン
73. スウェーデン	74. シリア	75. タイ
76. チュニジア	77. トルクメニスタン	78. トルコ
79. ウガンダ	80. ウクライナ	81. イギリス
82. タンザニア連合共和国	83. ウルグアイ	84. バヌアツ共和国
85. イエメン	86. ザンビア	

(2010年6月29日現在)

- 国連 批准国リスト(英語): <http://www.un.org/disabilities/default.asp?id=257>

## イベント情報

### 1. スタッフ・ベンダ・ビリリ 演奏会

2009年、ヨーロッパのワールド・ミュージック界で一大旋風を巻き起こしたコンゴ民主共和国のグループ、スタッフ・ベンダ・ビリリが日本で初めての講演を行います。小児麻痺のため、自ら作製した車いすに乗り演奏するメンバーなど個性的なグループが、ポリオの予防接種を呼びかける歌などを演奏します。講演に先駆け、関連イベントもありますので、興味がある方は以下のウェブサイトからお申込み下さい。

- 日時: 2010年10月17日(日) 17:00 開演
- 場所: 三鷹市公会堂 (三鷹市野崎 1-1-1)
- 入場料: 一般 4,000円/シニア 3,500円
- お申込み先: <http://mitaka.jpn.org/ticket/1010170/>

### 2. 2010年アジア太平洋盲人福祉会議 (WBUAP 中期総会)

- 日時: 2010年10月29日～11月1日
- 会場: ホテルグリーンタワー千葉 (10月29日～31日)  
すみだ産業会館サンライスホール(11月1日)
- テーマ: 障害者権利条約の批准と視覚障害者施策の充実を目指して

(平等な就業機会と生存権の保障)

- **主な内容:**
  - ✓ 10月29日: 青年フォーラム・女性フォーラム
  - ✓ 10月30日: WBU や雇用に関する記念講演・各国の状況
  - ✓ 10月31日: 権利条約・能力開発に関する分科会・雇用に関するシンポジウム
  - ✓ 11月1日: ICTに関するシンポジウム
- **参加費:** 参加登録料:12,000 円、付添者 5,000 円 (昼食、喫茶代、資料代含む)
- **パーティー参加費:** 4,000 円/人(歓迎パーティー、送別パーティーとも同額)
- **連絡先:** 社会福祉法人 日本盲人福祉委員会内 実行委員会事務局 (TEL: 03-5291-7885)

総会ですので代表以外は議決権はありませんが、どなたでも一般参加いただき、質問・意見・参加者との交流などは可能です。奮ってご参加ください。

### 編集後記

はじめまして、私は理学療法士の伊藤智典と申します。この度初めて JANNET に参加しましたが、まだまだ右も左も分からず、緊張しています。

私は理学療法士という仕事上、障がいを持つ方々と接する機会が今まであちこちでたくさんありました。例えば日本のみならず、エチオピア・イギリス・インドなどで仕事・勉強・ボランティア活動をしてきました。エチオピアとスーダンとの国境近隣地域で、CBR という活動を地元の方々と協力して実施していた事もあります。若輩者ながらあちらこちらで障がいを持つ人々に接する経験をしてきた私ですが、JANNET に参加してみて、知らない事はかなり多いのだなあと改めて気付かされました。

少しかたい話ですと、例えば他機関とのパートナーシップのあり方であり、関係省庁との協議の事、グローバルな観点からの本邦の障がい関連施策などです。全ての人々が様々な社会の中で生きているという視点を持つことの重要性を認識すること。むむむ、勉強が必要だなあと感じました。

そして少し恥ずかしいのですが、他の方々の名刺を見て驚きました。何かと言いますと、点字を採用した名刺をお持ちの方が多く事です。これはいわゆる、「常識」なのだなあ、と思いました。

ビジネスの世界では名前や顔を覚えてもらう為、名刺をお渡するのが「常識」です。名刺には例えばカラーの顔写真をつけ、または木製の素材を使用するなど、覚えてもらう為の様々な方法をとっている会社があり、興味深く思います。これとは逆に、私の持っている名刺は何だか薄っぺらに感じました。私の名刺を渡しても、人によっては全く覚えてもらえないのかと思うと、寂しい気持ちになりました。

そういう当たり前の事をスムーズにしていく必要があることに留意した上で、今後も様々な「常識」を学んでいけたらと思っています。宜しくお願いします。

編集委員: 伊藤智典  
(日本理学療法士協会)

JANNET 事務局では、会員の皆様よりメールマガジンに掲載する国際活動に関する情報を募集しております。団体会員様のイベント情報などありましたら事務局までご連絡ください。

**JANNET** 障害分野 NGO 連絡会

〒162-0052 東京都新宿区戸山 1-22-1 財団法人日本障害者リハビリテーション協会内  
【JANNET 事務局直通】 TEL:03-5292-7628 FAX:03-5292-7630  
Email: [eueno@dinf.ne.jp](mailto:eueno@dinf.ne.jp)  
URL: <http://www.normanet.ne.jp/~jannet/>